

常警文藝

◆待宵草

乙女ごころの悲しさは  
小雨ごとくはるの宵  
君待つ宵のはかなさよ  
ぬれてしよんぼり池り端  
むせぶごころに散る花は  
君がなさけのかほらむ  
小雨ごとくはるの宵泣く  
乙女のむねのなみだ花  
—三、二九—

學生

安イガ澤山揃ハシマ  
十五錢ヨリ色々  
大谷洋品部

大谷時計店  
平町三丁目 電話一九番

モリスン

今春流行珍柄  
側帯新柄  
豊富ニ取揃  
御用意なら  
大原モリスン店  
平町三丁目



定価 一月五圓  
半年三十圓  
一年六十圓  
郵税別  
印刷所 平町五番地  
電話 二二番

発行所 平町五番地  
電話 二二番  
印刷所 平町五番地  
電話 二二番

四月廿一日夕刊

平町々會議員候補者トシテ  
佐々木龍若君ヲ推薦  
シ極力以テ其當選ヲ期ス  
平町有權者有志  
第十六區  
第十七區  
青年一同

青島眼科醫院

候補者 阿部唯次郎君  
右最適任者ト認メ推薦シ協力一致其當選ヲ期ス  
四丁目一同

吉田眼科醫院

▲文明人の子供は最も文明の玩具を喜ぶ

家庭教育玩具  
最新特許出願  
第一七七八番



各學校幼稚園實地應用の結果賞賛を博シ感謝狀を賜はる

小供用十五錢  
教授用一圓

會商 ヤキラア (所賣販) 館業産會覽博平作榮條西 (元造製) 市上巨水

花見のお歸りには

長橋町の  
うどん まつや

牛ト食糧問題

米食ノ大和民族ハ食糧難ニ陥ル  
食糧ヲ水田ニノミ求ムルハ今ヤ不可ナリ  
範ヲ陸田ニ採レ且ツ盛ンニ牛ヲ養ヘ  
而シテ肉ト乳トヲ食用セヨ  
肉ハ草ニ在リ藁杆ニ在リ  
牛二九八 三二二三屋  
電話三二三番

四月十二日ヨリ

●松ヶ岡公園池の畔に  
永森 コムアホール開設!  
●櫻花と共に森永の美味しいココアや森永のお菓子が皆様の御来店をお待ちしております

マツモトヤ  
平町四丁目 電話二二四番

毎日前午十時一  
卅分間  
友仙モス一尺  
十二錢で廉賣  
春衣...の大賣出し  
平・土橋  
臨屋吳服店  
電話二二番

柏傳の  
企染物ト刺子  
柏屋染物店

平町の發展策(一)

吸山

いつ迄も山を當にして居た  
のではいけない、山の不景  
氣はすぐ町に祟る、まして  
百年内外で山の炭も、そろ  
ろ乏しくなる、火が熄  
へた様になるに違ひなし、  
今の内にどうにか、せねば  
ならぬとは皆云ふ口であり  
ませう、それならばどうす  
ればよいのですか、先づ平  
小名濱間鐵道開通を速成す  
る事がいゝでせうと、なる  
ほど同感であります、其の  
外にも問へば商工業の發達  
を計畫する事でせうと、

れも至極御尤なり、併し所  
謂その發達の計畫とは、ど  
ふすればいゝのでせう、  
どうせうと聲を高めて反  
問しても、其の先は不得要  
領勝ちなり、翻へつて附近  
の濱々を御覽なさい、防波  
堤を築きたり、漁獲の多大  
ならん事を謀りたり、水産  
物製造の改良を講じたり、  
互に競ふて鋭意改良進歩に  
盡力じつゝあり、又周囲の  
農村を御覽なさい、是は亦  
餘程以前より、未開地の開  
拓やら、種子肥料の撰擇や  
ち耕作の方法やら、一般農  
事の改良進歩に就きては、  
講習に、研究に、幾手にも  
努力して、自強息まざる風

ありではありませんが、そ  
れに引換へて町の振り合ひ  
はどふでありませう、なる  
ほど店の裝飾陳列などは、  
從來とは大分面目を改めつ  
ゝあり、是も結構の事に違  
ひありません、茲に序に一  
事申して置きたきは、顧客  
の入來を見て、油斷のなら  
ぬ奴がきたなとばかりに、  
無言にて客の顔ばかり見詰  
めて居る風は、未だ多くは  
改まらず、甚しきは品物を  
多く取出して見せる事を乙  
工夫する風が明かに見取ら  
るゝ店などもあり、客の入  
來と退出とに、店中の者が  
口を揃へて挨拶する風は、  
未だ行はれぬ様なり

# 聲ばかりで実績の 擧げられぬ農村経営

## 数字的研究を爲せよ

### 野村技師語る

農村といへば疲弊を聯想し、疲弊といへば農村を想はしむるといふやうに農村疲弊の聲は宣傳され救済の叫びは揚げられてから實に久しに農村實際は遅々として改善せらるゝことなく相變らず 疲弊の状態にあるは一体如何なる理由の存するか右について野村本郡農業技師は次ぎの如く語つた「農村が實際の成績を擧げ得ぬは第一に經濟的に覺醒し数字的に立脚して方法を講ずるに至らず

### 只漫然と

して仕事を爲す状態にあるからであるこれを数字的に計算して見たら到底現在のままで安んずることが出来ないものがある假りに努力と主産物の比例を取つて見れば明治廿二年頃の農作

### 手間賃は

男が廿七錢で女が廿一錢であるものが現在では男が一圓三十四錢女が九十五錢で即ち約五倍の騰貴を見てゐるに抱らす米價は(之は三十五年からの統計である)一石十一圓八十六錢のものが平均三十五圓四十八錢即ち僅かに二倍に達 せるのみで到底その均衡が取れぬことがわかる更に養蠶では大正四年に繭一貫目三十六圓九十六錢のものが現在では

## 役員は逆轉 再び官僚に

### 聯合青年團の

本縣聯合青年團役員は會長に長井内務部長副會長に鐘江社會課長及び大森郡山市長が當選したが數年前から民間役員 説が盛んに起り昨年は民間から大森勇氏が選舉した處之も一年で再び官僚の手に逆轉した

状態となつた、今回の役員は總會に於て各郡市一名宛の委員を擧げて詮衡せしめたのであるが大森氏

## 我慾一點張りの 利權派をひとひしぎ

### 許可一週忌をトシ

## 反對同盟會の大示威運動

平町未曾有の騷動を捲き起した大瀧發電所設置の計劃は昨年の四月廿五日に許可されたものであつて來る廿五日は正に同盟會の一週忌に相當するの故を以つて許可反對同盟會にては此不逞事を腦裏に強く牢記して一部利權派の爲めに禍根を永遠に残さざる事に努めんと其の日を期して同盟會大會を開き全町に亘つて大示威運動を試むべく目下計劃中にて此機をトシて憎むべき我慾一點張りの利權派織滅の快舉を構する由

## 沿線の名所

### 旅行熱を煽る

仙台鐵道局において管内の名所舊蹟等をフイルムに收め各所で映寫し鐵道旅行熱をたかめ漸次旅客收入の増額を圖る案を樹て同事務所旅客係では縣下の名所舊蹟を撰擇して十八日本局に通報した、撮影は春夏秋冬適當の時期を選ぶが春の分は



家庭庭欄

## た臺所のひかへ

△お味噌は蒸養が多いから毎日食べること  
△一日一度は肉か魚を食べること

## 沿線の名所

旅行熱を煽る

△なるべく漬物を食べること  
△グイタミンを含む野菜、にんじん、ほうれん草、さつま、じゃが芋、たまねぎ  
大根、菜を食べること  
△コーヒー、紅茶は子供には悪い。牛乳はよい  
△人参や大根、里いもは皮をむかぬ方がよい、

## 男の髪 刈り方

男の髪は刈り方が流行し居るかと云ふに前を高く見せるために毛を長く殘して、上から後へ兩鬢のあたりで短く薄く刈るといふ風です

## 分け方

もぢやくと荒目の櫛でとかすよりか細目の櫛でびつたり後へかき上げるか又は中央から分けるなり、横から綺麗に分けるのが一般の流行です

## 流行し

て居ますこれは大きく上に二段ほど波をうたす方法かさもなくば

## 調髪所

### へ行くといふ不經濟を來しますこれは

アルコール又はフケ取り香油を撒布してかたい毛の毛髪用ブラシで梳れば汚れもどれ髪の艶も出て洗つた時

## 同様に

### なりませぬ

そしてアイロンをあてた形はくづれずに済みます(南町大谷理髪店主談)

## 在米高調査

### 石城郡内の

福島穀物検査支所にては廿五日現在の石城郡内地主持、自作持、小作持商人の各在米高を調査すべく各町

來月から撮影着手する豫定である因に磐越東線と常磐線の映寫される名所は左の如くである

## 不平受付

### 投書歡迎

◆四丁目の下水工事 四丁目川岸下水溝の石垣積みを始め清潔至上極感謝します然れ共平町空前繁華の時期に殊更少しも交通出來ぬ様に土砂を上げ實に通行人の迷惑一方ならず餘り當局としては誠意のない處置であると思はるゝ故夜業にも竣工すか又は一時中止整理して欲しい

(南町衛生世話係)

△伏見町長の答 下水の断水時期を選んだ爲め貴方の云はるゝが如き不平を生み出す事となつたのでせうが御説の通り雑踏の折柄ですから工事を急がせなるべく通行の妨害ならぬ様注意せしめま

△アクつよい野菜の外はゆでない方がよい。

△ローズと、細切れ、鯛、まぐろ、ひらめ、鯉、たらにしん、鰯、生魚と干物、鹽物とは榮養價に差がない  
△七分搗米、及び無砂搗がよい、米は白ける程養物が減じる。混砂搗は体に悪い。

## 兎の耳

村と協力調査中であると

△刑事を狙ふ十二の少女 十九日午後八時頃淺草公園内でキサガタ署の鈴木刑事のたもとからガマ口をスリとらうとした少女があつた、調べると本所北二葉町一六澤田喜八郎六女ちや子(三)假名とわかつたが當夜既に二件のスリを働いてゐた

〇〇〇〇  
ヒロイモノ

▽石城郡内郷村大字白水野口清隆君は廿日平町二丁目にて九圓廿四錢在中の墓口一個▽平町搔搦小

路柏原末次君は十九日平町博覽會勸業館にて一圓六十三錢在中の墓口二個  
▽田町明雲堂方鈴木章雄君は銀側懷中時計▽白銀町深谷シゲ子は十五日自宅前にて十八邊片側懷中時計▽田町渡邊十太郎君は十九日末廣亭にて一圓十二錢在中に二つ折皮財布▽石城郡内郷村矢吹榮作君は十九日松ヶ岡公園にて一圓四十八錢在中の黒皮製墓口▽茨城縣磯原町鈴木八百吉君は十九日松ヶ岡公園の坂道にて二圓卅五錢在中の墓口▽石城郡鹿島村大字三澤吉田正次君は十八日柴田曲馬場前にて金側懷中時計一個  
△搔搦小路稻垣方安峯甲太郎君は南町道路にて二圓四十四錢在中の布製墓口一個等夫々拾得此程平署に届出た由